

2015年 医学部 第3問

3  $a, b$  を実数の定数とする.  $O$  を原点とする座標空間内に3点  $A(1, 2, 0)$ ,  $B(2, 0, 4)$ ,  $C(a, b, 1)$  がある.

三角形  $OAB$  において, 点  $O$  から直線  $AB$  に下ろした垂線と直線  $AB$  の交点を  $H$  とする. 点  $H$  の座標は

$$\left( \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}, \frac{\boxed{\text{ウエ}}}{\boxed{\text{オ}}}, \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} \right)$$

である.

点  $A$  から直線  $OB$  に下ろした垂線と線分  $OH$  の交点を  $K$  とする. 点  $K$  の座標は

$$\left( \frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}, \frac{\boxed{\text{コ}}}{\boxed{\text{サ}}}, \frac{\boxed{\text{シ}}}{\boxed{\text{ス}}} \right)$$

である.

$\vec{OA}$  は  $\vec{BC}$  に垂直で,  $\vec{OB}$  は  $\vec{AC}$  に垂直であるとする. このとき  $a = \boxed{\text{セソ}}$ ,  $b = \frac{\boxed{\text{タ}}}{\boxed{\text{チ}}}$  である. 以

下で,  $a, b$  はこの値であるとする.

線分  $CK$  上に  $\vec{OL}$  が  $\vec{AC}$  に垂直になるように点  $L$  をとるとき

$$\vec{OL} = \left( \boxed{\text{ツ}}, \boxed{\text{テ}}, \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{ナ}}} \right)$$

である. そのとき,  $\vec{LK}$  は  $\vec{OA}$ ,  $\vec{OB}$  に垂直である.

平面  $OAB$  において, 三角形  $KAB$  の外接円の周上に点  $P$  をとるとき, 線分  $LP$  の長さの最大値は  $\frac{\sqrt{\boxed{\text{ニヌ}}}}{\boxed{\text{ネ}}}$  である.